

ウインドウ撥水コート 施工マニュアル

■油膜などがひどい、他コーティング類が施工されている場合

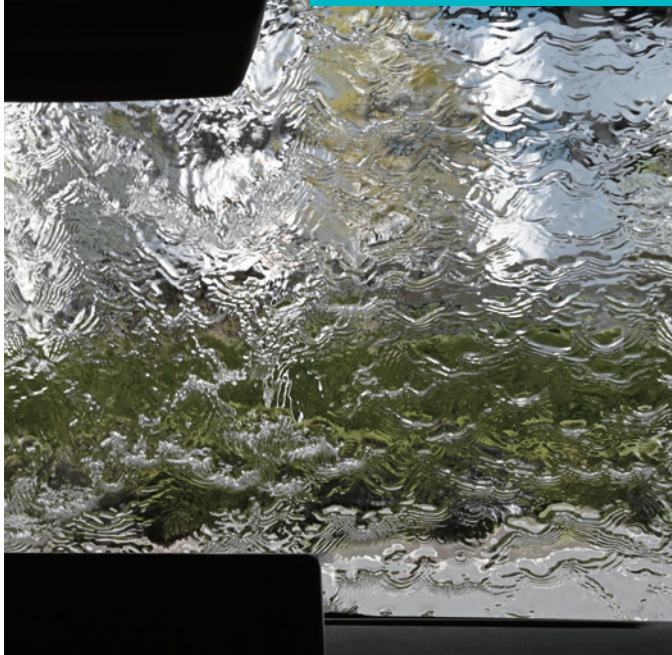
油膜や汚れの付着がひどい場合や他ウインドウコーティング（フッ素系など）などが施工されている場合、コーティング前にこれらを除去する必要があります。

コンパウンド等で汚れを除去し、**ウインドウが水弾きが無い状態**になってからコーティングしてください。

水を弾いている状態



水弾きが無い状態



車内からの視界（フロントウインドウにシャワーで水をかけています）

油膜などの汚れが軽度の場合は、裏面をご覧ください。

■油膜などの汚れが軽度の場合



BCパッドでコーティング

- ウィンドウガラスの砂埃などを拭き取ります。
- 施工は炎天下を避け、屋根のあるところで行ってください。
- ガラス面のヒビ割れやキズなどの有無を確認してください。
- ワイパーゴムが劣化している場合は交換してください。



付属 BCパッド

- 付属の「BCパッド」にティッシュ（市販品）を巻き付けてください。
- コート剤をよく振ってから適量とり、塗りのモレが無いように縦横方向に1回ずつコーティングしてください。

※本製品の再施工の場合、油膜や汚れなどが酷くなければ上塗り施工が可能です。

- コーティング塗布後、気温に応じて以下の乾燥時間を取ってください。
 - ・外気温10℃以下 15分間乾燥（デフロスター使用）
 - ・外気温10～30℃ 10分間乾燥（デフロスター不要）
 - ・外気温30℃以上 5分間乾燥（デフロスター不要）
- 拭き取りにくくなりますので、コート剤を塗ったまま30分以上放置しないでください。
- 施工部分以外に付着したコーティング剤はすぐに拭き取ってください。
- ウィンドウ撥水コートを使用した後は、キャップを締めて冷暗所に保管して下さい。



- 乾燥終了後、水で固絞りしたウエスで、残留物を拭き取ってください。
- コーティング剤の拭き残しはワイパービブリの原因になりますので、施工後は車内からも仕上がりを確認してください。

ワイパーラバーが劣化している場合はグラファイトワイパー、シリコンワイパーに交換してください。以下の様な場合は「ワイパーコート」などのビブリ止めを施工してください。

- グラファイトワイパーが装着されていない場合。既販車などでグラファイトワイパーに交換しなかった場合。輸入車、軽自動車、その他ワイパービブリのある場合。